

2011年7月1日(第8版)

管理医療機器 包装品用高圧蒸気滅菌器

特定保守管理医療機器

蒸気滅菌装置(Kシリーズ)

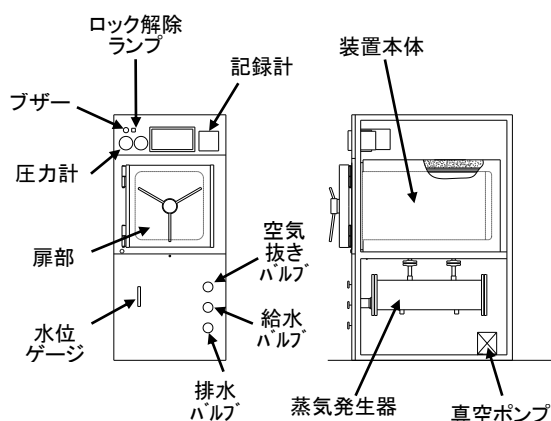
【警告】

- ・装置、被滅菌物は高温になるためヤケドに注意する。
- ・圧力が異常上昇したら電源を切る。

【禁忌・禁止】

- ・大気圧以上で扉を開放しない。
- ・装置内に引火性、爆発性物質を入れて使用しない。
- ・医療用器材以外の物は滅菌しない。
- ・密閉されたものは滅菌しない。
- ・消毒薬、蒸留水等の液体滅菌は行わない。

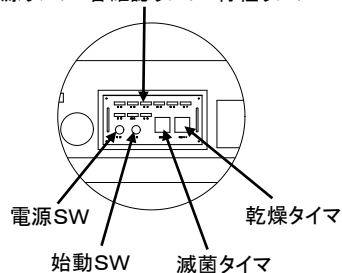
【形状・構造等】



正面図

側面図

電源ランプ・各確認ランプ・行程ランプ



【性能、使用目的、効果・効能】

大気圧を超える圧力をもとに飽和蒸気滅菌する器械器具。

【操作方法又は使用方法等(用法・用量含む)】

以下の手順の詳細は取扱説明書の「3. 取扱操作」をご参照ください。

1. バルブの開閉を行います。(蒸気発生器内の水位が充分にあるか確認してください。充分でない場合は、外缶圧力計“0”を確認後空気抜きバルブを開け、給水バルブで水位を調節してください。)
2. 電源スイッチを押します。(ヒーターで加熱され外缶に蒸気が供給されます)
3. 内缶連成計が“0”であることを確認し、ハンドルを回して扉を開放します。
4. 滅菌物をセットします。
5. 扉を閉め、ハンドルを回して扉を締め付けます。
6. 始動スイッチを押し、自動運転を開始させます。
加熱→真空→給蒸→滅菌→乾燥→完了
7. 自動運転が終了し、完了表示・完了ブザーが鳴ります。
8. 内缶連成計が“0”であることを確認し、ハンドルを回して扉を開放します。
9. 扉を開放し、滅菌物を取り出します。
10. 扉を閉め、電源スイッチを押します。(OFF)

※連続して使用する場合は、再び電源スイッチを押して加熱保持します。

【作動・動作原理】

この装置は、耐圧容器、蒸気発生器、真空ポンプ、配管類、制御盤から構成される。

設備として、電源・水・排水を必要とし、加熱から完了までの動作(真空・給蒸・排蒸・真空乾燥)は、各流体のセンサー・自動弁・リレー回路により制御される。運転の記録は備付の記録計に記録される。低水位や扉安全機構によって安全な動作をします。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

【使用上の注意】

詳細は取扱説明書の「取扱い上の注意」をご参照ください。

- ・液体(水、薬液など)や油脂(油、グリス)、洗剤の付着したものは滅菌しない。
- ・バイオロジカルインジケータを用いて、滅菌条件を決定する。
- ・運転ごとにケミカルインジケータの変色を確認する。
- ・定期的なキャリブレーション(計測器の精度校正)を実施する。
- ・扉を開けるときは、圧力計が“0”であるか確認する。
- ・扉によるはさまれに注意する。
- ・滅菌物の取り出し時や搬送時にやけどに注意する。

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

詳細は取扱説明書の「10. 保守・点検」、「第一種圧力容器自主検査記録」をご参照ください。

①毎日の点検項目(運転前の装置が冷えた状態で実施)

- | | |
|----------|---------------|
| ・滅菌槽 | 布などで水拭き清掃する。 |
| ・弁類及び配管部 | 目視による漏れの確認 |
| ・扉パッキン | 目視による割れ・キズの確認 |
| ・圧力計 | 目視による“0”精度確認 |

②週間の点検項目(運転前の装置が冷えた状態で実施)

- | | |
|------------|-----------|
| ・エアーコンプレッサ | ドレーン抜きする。 |
|------------|-----------|

※装置の仕様によっては付属されていないものがあります。

③定期自主検査(運転前の装置が冷えた状態で実施)

【ボイラー及び圧力容器安全規則】にもとづく点検を毎月実施し、記録を3年間以上保管する。

※詳細は「圧力容器自主検査記録」参照。

- | | |
|-----------|----------------|
| ・滅菌槽、扉 | 目視による割れ・損傷の確認 |
| ・扉締め付け | ボルト等のゆるみ、摩耗の確認 |
| ・扉パッキン | 損傷・劣化の確認 |
| ・真空ポンプ | グリスの補充 |
| ・安全弁 | 破損・漏れ・腐食の確認 |
| ・圧力計 | 損傷・腐食・誤針・動作確認 |
| ・配管 | 損傷・漏れ・緩み・腐食の確認 |
| ・ストレーナ | 年に3回以上の分解清掃 |
| ・スチームトラップ | 年に3回以上の分解清掃 |

④性能検査(厚生労働省の指定する代行機関で受験)

【ボイラー及び圧力容器安全規則】にもとづく性能検査を年1回受験し、検査証を更新する。

- | | |
|----------------------------------|-----------------|
| ・全般 | 缶体の清掃、各所のグリスアップ |
| ・圧力計 | 点検・交換 |
| ・安全弁 | 分解整備 |
| ・扉パッキン | 点検・交換 |
| ・エアフィルター | 点検・交換 |
| ・減圧弁 | 点検整備 |
| ・ドアシリンダー、ロックシリンダー | 1～3年に一度整備点検 |
| ・自動弁(ボール弁・ピストン弁・電動弁・電磁弁・エアー用電磁弁) | 3～4年に一度整備点検 |

※部品の交換時期は目安です。使用の頻度、設備周辺の条件により異なります。実際に使用していく中で交換時期を判断する。

※装置の仕様によっては付属されていないものがあります。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者及び製造業者

名 称:株式会社ウドノ医機 檜原工場

住 所:東京都八王子市檜原町1453-2

電話番号:042-625-3661

(問い合わせ先)

株式会社ウドノ医機

東京都八王子市元横山町2-1-9 川井ビル2階

電話番号:042-642-6153